

今年の受賞者をお知らせします

# 舟橋聖一 顕彰文学賞

舟橋聖一顕彰文学賞は、彦根市の名誉市民である作家・故舟橋聖一氏の功績をたたえとともに、広く青少年の文学奨励をはじめとした教育・文化の振興を図るために設けています。

18〜30歳の青年を対象とした第22回「青年文学賞」には全国から66編の応募があり、また、近畿各府県および滋賀県に隣接する各県の小・中・高校生を対象とした第25回「文学奨励賞」には、136編の応募がそれぞれありました。

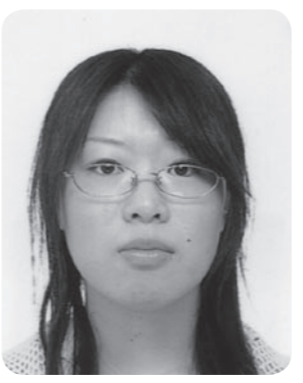
選考の結果、今回の受賞作品が次のように決定され、授賞式が11月27日(土)に彦根ビューホテルで行われました。

問い合わせ先 市立図書館 ☎22-0649番 FAX26-0300番

## 文学奨励賞

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>小学生の部</b></p> <p>第一席 『お父さんが生まれた日』 さと(作文) 山根久実さん(城西小学校5年)</p> <p>第二席 『ぼくの弟』 香宮逸希さん(旭森小学校3年)</p> <p>第三席 『かゆい夏休み』 新井鈴花さん(佐和山小学校4年)</p> | <p><b>中学生の部</b></p> <p>第一席 『自立への挑戦』(紀行文) 富江伸太郎さん(鷹崎中学校2年)</p> <p>第二席 『フラインドサッカー』 藤井佳乃さん(東中学校2年)</p> <p>第三席 『彼女と過ごした時間』 若林奈織さん(西中学校3年)</p> | <p><b>高校生の部</b></p> <p>第一席 『傷年』(創作) 堀田亜祐実さん(兵庫県立津名高等学校1年)</p> <p>第二席 『月光』 田中祐季さん(河瀬高等学校2年)</p> <p>第三席 『真意』(創作) 板谷崇央さん(彦根高等学校2年)</p> |
|---|---|---|

## 青年文学賞



佳作 『白い壁と、画家の妻』(小説) 松沢友実さん(埼玉県春日部市在住)



最優秀 『ツール・ド・フランス』(小説) 富成東志さん(東京都練馬区在住)

**受賞コメント**  
この度は由緒ある賞に私の作品を選んで頂き、関係者各位、及び選考委員の諸先生方に心より感謝致します。

それと誠に僣越ながら、本作品のタイトルの由来でもある、同名の楽曲を制作したドイツの偉大なアーティスト、クラフトワークに、この場を借りて感謝の意を表したいと思います。今回作品を評価して頂いたことは、私の今まで培ってきたものが無駄ではなかったように思えて、素直に嬉しいです。

しかし、賞を貰っても自身の何かが変わるわけではなく、優れた作品を作るという、根底にあるものはまったく変わりません。

今回の受賞を一つの励みとして受け止め、今後も小説と真摯に向き合い、より質の高い作品を作り続けていく所存です。

**受賞コメント**  
文学賞の応募でこういうものをいただいたのは初めてのことなので、とても嬉しいです。佳作の連絡のお電話をいただいたときは、本当に自分のことなのかと実感がすぐには湧いてこなくて、ふわふわと不思議な気持ちでした。小説を書いたり絵を描いたり、昔から何かを作ることが好きだったので、プロの方に直に作品を読んでいただき、自分の好きなことで佳作がいただけるとも幸せです。

文章を書くということは不思議なもので、考えながら書いていても、自分で気づかなかつた自分の気持ちや言葉になって出てきたりするもので、そういうことも楽しみながら書いています。

今回こうして佳作をいただいたことを励みに、もっとたくさん小説を書き、精進していきたいと思えます。ありがとうございます。

## 第4回の受賞者をお知らせします

# 舟橋聖一文学賞

作品名 『天地明察』  
著者 冲方 丁さん

舟橋聖一文学賞は、国宝・彦根城築城400年祭の開催を機に、彦根市の発展を図るために平成19年度に創設した賞です。文学の振興を通じて、市民が豊かな心を育み、香り高い文化を築くため、名誉市民である舟橋聖一の文学の世界に通じる優れた文芸作品に対し舟橋聖一文学賞を贈ります。

「舟橋聖一文学賞」は、これまでの「文学奨励賞」、「青年文学賞」のような公募式でなく、基準日を設け、その基準日より前の1年間に新しく単行本として刊行された優れた小説を対象としています。「舟橋聖一文学賞」が「文学奨励賞」、「青年文学賞」に応募する人の刺激となり、創作活動の目標、励みとなるように、また、広く地域文化の振興が図れるよう期待します。

### 冲方 丁さんプロフィール

1996年、早稲田大学在学中に『黒い季節』で角川スニーカー大賞を受賞しデビュー。以後コミック・アニメとの連動を先駆的に行い、マルチな活動を続ける。著作に『オイレンシュペーグル』『微睡みのセフィロト』『ばいばい、アース』などがある。2010年初の時代小説『天地明察』で第31回吉川英治文学新人賞、本屋大賞1位、第7回北東文芸賞を受賞。同書は直木賞にもノミネートされた。



撮影：江森康之